

D2660

## 東大阪東ロータリークラブ

Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report 2018-9-6 No.2577



創立：昭和40(1965)年3月4日

『職業を語り、誇りを持ってロータリーをエンジョイしよう』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：水上 雅博 / 幹事：藤本 良男 / 会報資料担当：田原 さおり

## 今日の例会

- 卓話  
「東洋医学的健康管理について」  
古川 靖明 君

- 今日の歌  
「君が代」  
「四つのテスト」  
ピアノ 岩島 佳子 先生

- 例会後 9月度定例理事会

## 来週の例会予定

- 9月13日(木)  
卓話「枚岡の森を守る」  
枚岡の森を守る会  
代表 濱上 晋介 様  
芳田 至弘会員 紹介

9月は  
基本的教育と識字率向上月間  
ロータリーの友月間

## 先週の出席報告(8/30)

先週(8/30)の出席者数：35名(2)  
ビジター2名：  
国際ロータリー第2660地区IM第4組  
ガバナー補佐 鈴木 慶一 様  
ガバナー補佐エクスト 加茂 次也 様

出席率：67.31%

※( )内数字は出席免除会員の出席者数  
会員：64名(免除14名)

	8/9	8/16	8/23
HC出席	33(4)名	休会	35(2)名
MU出席	9(0)名		5(0)名
修正出席率	77.78%		76.92%

## 会長の時間 水上会長(先週分)

今日は、鈴木ガバナー補佐、加茂ガバナー補佐が来られており、例会後もクラブ協議会にも参加していただき、ご指導をいただき予定となっております。それに先立ち、11時30分より東大阪東ロータリー事務所で、私と藤本幹事が、9月20日のガバナー訪問に向け、打ち合わせと聞き取りを受けました。少々、残念だったのは、会長の私がクラブのことが良くわかっていなかったため、藤本幹事がほとんど対応して頂きました。感謝です。

さて、鈴木ガバナー補佐から、提出を求められた資料があり、岡本さんに頼んで調べて頂きました。東大阪東ロータリーが行った今までの奉仕活動(国際・社会・職業・青少年・米山等)、または地区補助金の一覧です。皆様にもお伝え致します。

- ① 青少年交換 17名
- ② 米山奨学生受け入れ 14名
- ③ グローバルグラント 2015～2016年度(タイ)
- ④ マッチンググラント 2011～2012年度(タイ) 2012～2013年度(タイ)

地区補助金は、2013～2014年度(次の一年を除いて)2015年～2018年度まで、毎年となっております。提出させて頂いて、東大阪東ロータリーの先輩たちの活躍と、歴史には驚くと共に、輝かしいものだと感心致しました。

また、ガバナー補佐より、西日本豪雨の義援金は、2660地区で800万円に達し、先日送金したとの報告がありました。ロータリーの力を知りました。また別に、インドに洪水があり、ロータリーの力を得たいとの要請も来ております。ロータリーというのは、本当に世界的規模で活動しているのだとも思っております。

クラブ協議会では、私達クラブをご指導頂き、参考にしていきますので、よろしく願い致します。また本日は、新井君の卓話です。二人の予定が一人となってしまっており大変とは思いますが、どんな話が聞けるか楽しみにしています。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ 302号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

藤本幹事

先般のクラブ協議会にご出席の皆様、お疲れ様でした。

《これからの予定》

- 【1】 本日、例会後、9月度定例理事会
- 【2】 9/8 (土) クラブ社会奉仕委員長会議 (河村社会奉仕委員長出席)
- 【3】 9/10 (月) 東輪会合同例会 於：シェラトン都ホテル大阪4F「浪速の間」
- 【4】 9/12 (水) 18:30～第1回IM情報集会第4班 於：オ・セイリュウ
- 【5】 9/14 (金) 19:00～第1回IM情報集会第2班 於：玄品ふぐ 周防町 別玄

＜連絡事項＞

- 【1】 9/10 (月) は東輪会合同例会です。11:30より登録・食事、13:00開会 **15:20閉会**  
於：シェラトン都ホテル大阪4F「浪速の間」  
ご出席の皆様よろしくお願ひ致します。
- 【2】 9/20 (木) はガバナー公式訪問です。多数のご参加よろしくお願ひ致します。

輪の会便り

井戸田 精一

俳句をはじめ、3年となりました。私は、スケッチしたときや身の回りに変化があったときに時々、詩を書くことがありました。詩に記す内容は、前向きな出来事を書き記すことで断定し、そのときどきのことを思い出すには大切な作業と感じています。

俳句は、日本語の持つ多様性や微妙な表現を本当に短く語る訓練のように思います。普段の生活態度にメリハリを持たせ、身の回りの変化に気がつくことができれば、沢山ある個性を尊重できると思っています。

月1回ですが、俳句の会やの仲間が自薦句を発表し、俳句の背景や各個性を知る貴重な場所です。身の回りの変化を知るきっかけにして頂ければ幸いです。

2018年8月 ER輪の会俳句 自薦句

- 春正 武蔵野の大地果て無しかぼちや這う
- 太 敗戦の悔しさ南瓜呼び起こし
- 安德 八月の光と陰や長机
- 侑才 秋暑しひろげる句誌や長机
- 洋子 捨てしもの捨てられぬもの夏が行く
- 靖明 遠花火次が待てない子供たち
- 正信 空蟬の落ちしばかりの軟らかき
- 邦夫 炎天や起重機の影怪獣めき
- 精一 朝早く櫛揺らしてカブト狩り
- 恵生 「父さん」とのみの短冊星祭



ガバナー補佐を  
迎えての  
クラブ協議会

